

平成28年度 事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	I	環境に配慮した暮らしの構築
目標	一人でも多くの市民が環境問題に理解と関心を持ち、それぞれの立場で環境に配慮した暮らし方を構築する。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標① 環境保全活動に取組む人数	人	525	633	667	647	636	688	695	671
指標② 環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合	%	1.0	3.30	-	6.0	11.4	12.5	13.0	14.7
指標③ 環境調査における環境基準を超えた項目	件	0	0	0	0	0	0	0	0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的内容
1-①	1 環境保全意識の醸成	① 環境教育の推進	・子どもから大人まで各年齢層に応じた環境教育・学習の推進に努めます。 ・子どもたちの環境に対する意識を育むため、学校における環境教育の推進に努めます。
1-②	1 環境保全意識の醸成	② 環境保全団体や広域連携による連携強化と活動の推進	・自主的に環境保全活動に取り組む団体間等の情報交換や交流を促進します。 ・市や環境保全団体における情報の交換を促進します。 ・環境保全の推進を広域的に連携して取り組みます。
1-③	1 環境保全意識の醸成	③ 環境に配慮した消費行動の推進	・グリーン購入や環境ラベルの付いた製品の購入が定着するよう普及啓発活動を推進します。
2-①	2 環境保全活動の推進	① 省資源・省エネ生活への意識啓発	・身近な生活における節電の普及など、省資源・省エネルギーと環境にやさしい生活様式の意識啓発を推進します。
2-②	2 環境保全活動の推進	② 温室効果ガスの削減推進	・登別市温暖化対策推進実行計画などに基づき、温室効果ガスの削減に向けた取組を推進します。
2-③	2 環境保全活動の推進	③ 自然エネルギーの利用促進	・太陽光や風力などの自然エネルギーの利用促進を支援します。
2-④	2 環境保全活動の推進	④ 公害監視体制の強化	・大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動、地盤沈下などの原因による環境悪化防止のため監視に努めます。
2-⑤	2 環境保全活動の推進	⑤ 生態系の保全	・外来種のペット等が捨てられ生態系を乱すことを防止するため、飼い主に対してペット等の適正な飼育管理についての意識の啓発を行い、生態系の保全を図ります。 ・野犬捕討や、カラス・蜂の巣の駆除を行い野犬、蜂、カラス等による人への危害防止を図ります。

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan・Do										Check						Action																			
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H29以降】															
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	名称	H26決算	H27決算						H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案											
1	2-①	総合的な環境保全の推進	市民生活部 環境対策G	H10	-	ソフト	一般会計	環境基本計画や環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画等に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。	環境基本法 地球温暖化対策の推進に関する法律、国等による環境物質等の調達の推進等に関する法律、登別市環境基本条例、登別市温暖化対策推進実行計画等を実施。	環境基本法 地球温暖化対策の推進に関する法律、国等による環境物質等の調達の推進等に関する法律、登別市環境基本条例、登別市温暖化対策推進実行計画等を実施。	子ども環境家計簿の取組率(全児童数に対する取組児童数の割合)	%	66	77	80	80	80	80	国庫支出金	-	-	-	-	-	-	-	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	多様化かつ複雑化する環境問題は個別の対策事業だけでは解決は難しく、市民、事業者、行政の協働による総合的な環境保全活動が不可欠であり、細やかな情報提供と環境保全に対する意識啓発を進めるうえで必要な事業である。	環境基本計画に定める目標に向けて、今後も活動を継続していく。													
																																H27	上記のとおり	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	H27	上記のとおり
																																H28	上記のとおり	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	H28
合計																		723	93	852	844	844	844	H28	上記のとおり																			
2	2-②	電気自動車普及促進事業	市民生活部 環境対策G	H26	-	ソフト	一般会計	電気自動車の普及促進を図ることにより、地球温暖化防止及び低炭素化社会の実現を図ることを目的とする。	-	-	運用実績件数	件	14	89	100	110	120	130	国庫支出金	次世代自動車充電インフラ整備促進事業補助金	5,310	-	-	-	-	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	地球温暖化が加速する中で、環境問題への対策は多種多様化しており、全国的にも電気自動車に対する急速充電器設置率は上昇傾向にある。本事業は、電気自動車を利用する市民への利便性だけでなく、観光客等の誘致を図ることも繋がり、快適で安全な生活環境の実現と、地球温暖化対策及び低炭素化社会を推し進めていくうえでも、今後もより必要不可欠な事業である。	地球温暖化防止及び低炭素化社会の実現を目指し、電気自動車・急速充電器の普及促進を図っていく。														
																															H27	上記のとおり	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	地方債	H27	上記のとおり		
																															H28	上記のとおり	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	H28	上記のとおり	
合計																		12,762	1,111	1,323	1,183	1,183	1,183	H28	上記のとおり																			

